

EA21

平成27年度 環境活動レポート

運用期間

2015年4月1日～2016年3月31日

株式会社 片岡計測器サービス

発行：2016年6月30日

目次

1. 環境方針
2. 会社概要
3. E A 2 1 運用組織図
4. 環境目標
5. 環境活動計画
6. 取り組みの結果及び評価
7. 環境関連法規の遵守状況
8. 代表者による全体評価と見直し及び次年度への取組
9. 環境活動の紹介

1. 環境方針

環 境 方 針

I. 基本理念

株式会社 片岡計測器サービスは、環境計測機器の販売から据付、保守、技術サービスを主体に、顧客に対してより正確な役に立つサービスの提供を目標に日々活動しています。環境に係る企業として地球環境問題を当社の重要テーマと考え、事業活動における環境負荷への低減に努めるとともに、環境問題への意識を高め、環境配慮型製品の販売・サービスの提供に向けて社員一丸となって行動し環境保全に取り組みます。

II. 行動指針

1. 重点的な取組事項

取組事項として次のことに取り組みます。

- ①電力や燃料の削減に努め、発生する二酸化炭素の排出量の削減を目指します。
- ②社内から出る廃棄物の分別の徹底及びリサイクルを推進します。
- ③節水に努め水資源の使用量を削減します。
- ④グリーン購入の推進に努めます。
- ⑤環境に配慮したサービスの提供をします。
- ⑥化学物質・産業廃棄物の管理・保管・処理を適正に実施します。
- ⑦環境に関する啓蒙活動を推進します。
- ⑧地域とのかかわりを大切にし、環境保全活動に努めます。

2. 事業活動に関連する環境関連法規を遵守します。

3. この環境方針は全社員に周知し、必要に応じて研修会を開催し、その達成に努めます。

4. 環境への取り組みを、環境活動レポートとして公表します。

制定日 平成 22 年 9 月 11 日

改定日 平成 23 年 4 月 26 日

株式会社 片岡計測器サービス

代表取締役 川久保 賢隆

2. 会社概要

取組の対象組織・活動

◆組織の概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社 片岡計測器サービス

代表取締役 川久保 賢隆

(2) 所在地

〒753-0871 山口県山口市朝田 541 番地 1

(3) 環境管理責任者及び担当者氏名並びに連絡先

EA21 委員会及び環境管理責任者 取締役副社長 川久保 雄太

EA21 委員会 SE 部 TC 課 古屋 喬也

EA21 委員会 SE 部 TC 課 石津 清志

EA21 委員会 創夢課 藤井 美波

連絡先 TEL 083-925-5252 FAX 083-923-7878

E-mail kms@kms-inc.jp

URL http://www.kms-inc.jp

(4) 事業内容

環境計測機器、POS システム関連機器及び OA 機器の販売、据付、保守及び教育サービス

(5) 事業規模

売上高 5 億 6220 万円／2015 年度

	本社
従業員数	28 人
延べ床面積	378 m ²

※2016 年 3 月末現在

(6) 事業年度 4 月～3 月

◆認証・登録の対象範囲（全組織・全活動）

(1) 対象事業者名 株式会社 片岡計測器サービス

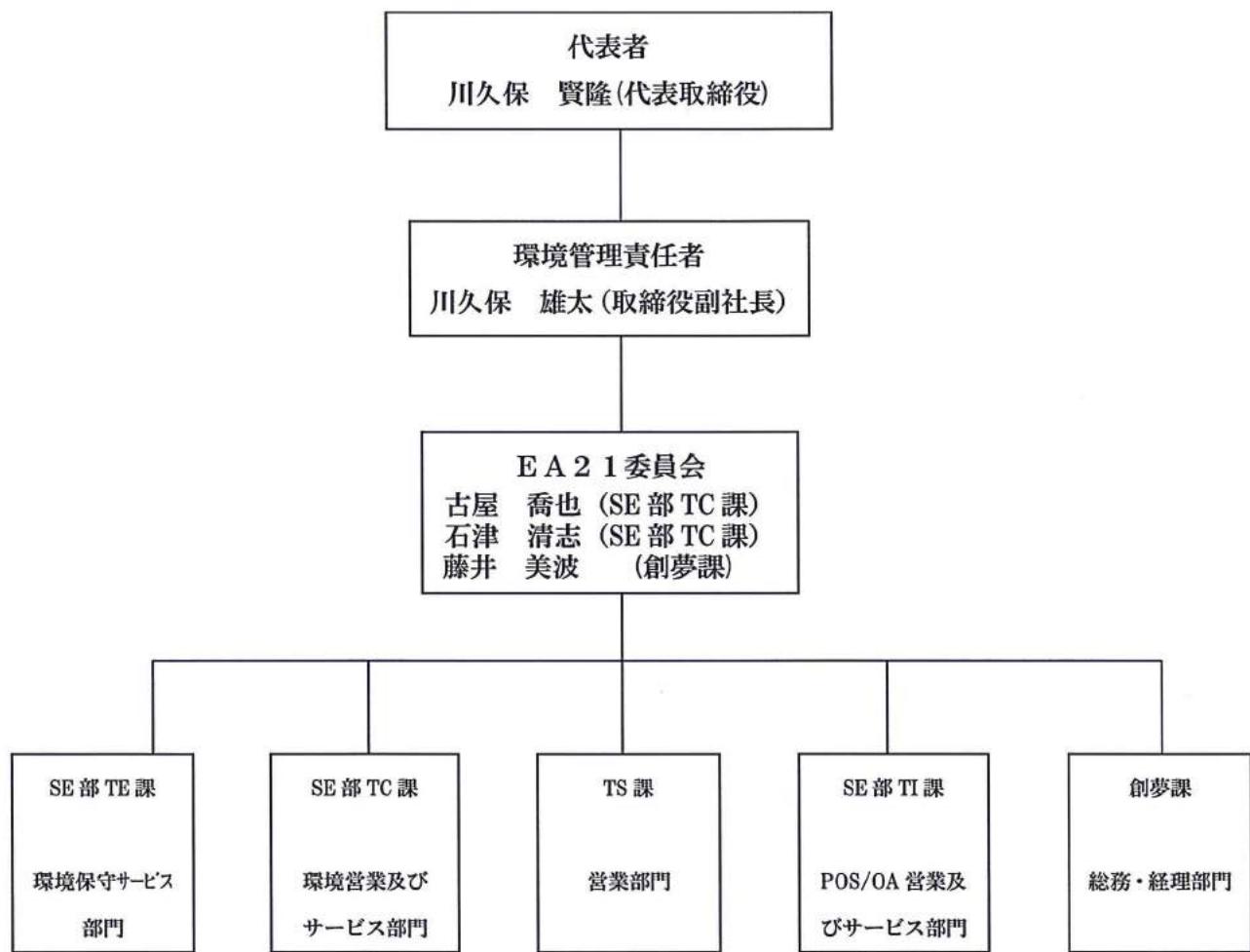
(2) 対象事業所 本社

(3) 対象活動

環境計測機器、POS システム関連機器及び OA 機器の販売、据付、保守及び教育サービス

3. EA21 運用組織図

EA21 実施体制



4. 環境目標

平成27年度 環境目標

環境目標		単位	平成 25 年度実績 (基準年度)	平成 26 年度 目標	平成 27 年度 目標	平成 28 年度 目標	平成 29 年度 目標	平成 30 年度 目標
①	二酸化炭素排出量	t-CO ₂	129	126 以下 (2%削減)	123 以下 (4%削減)	121 以下 (6%削減)	118 以下 (8%削減)	116 以下 (10%削減)
①-1	電気使用量	kWh	27,089	26,500 以下 (2%削減)	26,000 以下 (4%削減)	25,500 以下 (6%削減)	24,900 以下 (8%削減)	24,400 以下 (10%削減)
①-2	灯油使用量	ℓ	342	338 下 (1%削減)	335 以下 (2%削減)	331 以下 (3%削減)	328 以下 (4%削減)	324 以下 (5%削減)
①-3	ガソリン・軽油使用量	ℓ/台	1,887	1,830 以下 (3%削減)	1,775 以下 (6%削減)	1,735 以下 (8%削減)	1,700 以下 (10%削減)	1,660 以下 (12%削減)
①-4	都市ガス使用量	m ³	26 (過去 3 年平均)	26 下 (維持)	26 下 (維持)	26 下 (維持)	26 下 (維持)	26 下 (維持)
②	廃棄物排出量 ※1 (事業系一般ごみ)	kg	4,581	4,490 以下 (2%削減)	4,400 以下 (4%削減)	4,310 以下 (6%削減)	4,210 以下 (8%削減)	4,120 以下 (10%削減)
③	総排水量 (使用水量)	m ³	120 (過去 3 年平均)	120 以下 (維持)	120 以下 (維持)	120 以下 (維持)	120 以下 (維持)	120 以下 (維持)
④	省エネ車両の購入 ※2 (省エネ車保有率)	%	12 3 台/全 25 台	32 以上 8 台/全 25 台	44 以上 11 台/全 25 台	56 以上 14 台/全 25 台	68 以上 17 台/全 25 台	80 以上 20 台/全 25 台
⑤	環境に配慮した サービスの提供 ※3	回/年		12 以上	12 以上	12 以上	12 以上	12 以上
⑥	試薬室の清掃・点検	実施回数 /年	12	12 以上	12 以上	12 以上	12 以上	12 以上
⑦	環境ビジネスに関する啓 蒙活動の実施	実施回数 /年	3	3 以上	3 以上	3 以上	3 以上	3 以上
⑧	清掃活動の実施	実施回数 /年	4回	4回/年以上	4回/年以上	4回/年以上	4回/年以上	4回/年以上

※1 廃棄物の定義は、事業系一般ごみを削減目標の対象とする。産業廃棄物(マニフェスト処理を行うもの)については、集計はするが削減目標の対象外とする。

※2 省エネ車としての基準は、平成 27 年度燃費基準を 20% 以上達成している車両を省エネ車とする。

※3 業務内でのエコ活動の目標の設定及び全体への喚起

※4 二酸化炭素の排出係数はH20 年度の中国電力株0.674kg-CO₂/kwh を用いた。

※5 PRTR対象化学物質の使用量は少ないので、化学物質使用量の削減目標は掲げず、適正管理する。

備考:環境目標の対象となる期間 平成 27 年度:4 月 1 日～翌年 3 月 31 日

5. 環境活動計画

平成27年度 環境活動計画

① 二酸化炭素排出量の4%削減

取組目標		
1 電気使用量の削減	1	エアコンの設定温度（室温 夏25°C、冬22°C）
	2	昼休みの消灯（昼食スペースは除く）
	3	空調機器のフィルターの定期清掃
	4	残業時の不要な照明の消灯
	5	長時間席を離れる時、パソコンの電源OFF
	6	不要な電力消費の抑制（待機電力の削減）
2 灯油使用量の削減	1	灯油ストーブの適正利用
3 ガソリン使用量の削減（軽油含む）	1	エコドライブの励行
4 都市ガスの削減	2	省エネ車両の購入
	1	適切な火力調節の励行
	2	ガストーブの適正利用

② 廃棄物排出量の4%削減

取組目標		活動項目
1 紙使用量の削減	1	両面印刷の積極利用
	2	裏紙の積極利用
	3	社内回観文書は白黒両面印刷で行う
2 廃棄物の分別の徹底・リサイクルの推進	1	びん・缶・ペットボトルの分別の徹底
	2	可燃ごみ・不燃ごみの分別の徹底
	3	客先でのごみの分別回収の徹底

③ 総排水量の過去3年平均(120m³)を維持

取組目標		活動項目
1 水資源の使用量の削減	1	水を流しっぱなしにしない。
	2	配管漏れの確認

④ グリーン購入の推進

取組目標		活動項目
1 省エネ車両の購入	保有率44%以上	平成27年度燃費基準を20%以上達成した車両の購入 ・平成27年度4台購入 ※保有台数：12台/24台

⑤ 環境に配慮したサービスの提供

取組目標		活動項目
1 環境に配慮したサービスの提供		1 業務上でのエコ活動の目標の設定 2 業務上でのエコ活動の実施

⑥ 試薬室の清掃・点検

取組目標		活動項目
1 試薬室の清掃・点検	1	担当者を決め、毎月実施する。
	2	薬品庫を使用した後に、施錠を必ず行う。

⑦ 環境に関わる活動の推進

取組目標		活動項目
1 環境ビジネスに関する啓蒙活動の実施	1	学生インターンシップ及び中国人留学生の受け入れ
	2	地域の学生に対する環境に関わる講演会の実施
	3	環境問題に関する展示会への積極参加

⑧ 会社周辺の清掃

取組目標		活動項目
1 会社周辺の清掃（年4回以上）	1	役割分担を決め、清掃活動を実施。
	2	関連企業の主催する清掃活動への参加

6. 取り組みの結果及び評価

平成27年度 環境目標の達成状況 及び 環境活動計画の実施状況並びにその評価結果

環境目標に対する達成状況(期間：平成27年4月1日～平成28年3月31日)

項目	目標値	実績	前年度実績値	目標比	前年比	達成状況 (※1)
① 二酸化炭素排出量	123 t-CO ₂	119 t-CO ₂	124 t-CO ₂	- 3.2%	- 4.0%	◎
①-1 電気使用量	26000kWh	24653kWh	24513kWh	- 5.2%	+ 0.6%	○
①-2 灯油使用量	335 ℥	247 ℥	270 ℥	- 26.3%	- 8.5%	◎
①-3 ガソリン使用量	1775 ℥／台	1753 ℥／台	1843 ℥／台	- 1.2%	- 4.9%	◎
①-4 都市ガス使用量	26m ³	25m ³	29m ³	- 3.8%	- 13.8%	◎
② 廃棄物排出量	4400 kg	4492 kg	4525 kg	+ 2.1%	- 0.7%	△
③ 総排水量(使用水量)	120m ³	112m ³	110m ³	- 6.7%	+ 1.8%	○
④ 省エネ車両の購入	省エネ車保有率 44%	50%	36%	+6%	+14%	◎
⑤ 環境に配慮したサービスの提供	12回/年	12回/年	12回/年	±0回	±0回	○
⑥ 試薬室の清掃・点検	12回/年	12回/年	12回/年	±0回	±0回	○
⑦ 環境ビジネスに関する啓蒙活動の実施	実施回数3回/年	3回/年	4回/年	±0回	-1回	○
⑧ 会社周辺の清掃	実施回数4回/年	5回/年	5回/年	+1回	±0回	○

※1 ◎：目標達成及び前年度より削減 ○：本年度の目標のみ達成 △：目標は未達成だが前年度より削減 ×：目標未達成、前年度より増加（減少）

項目		
① 二酸化炭素排出量	二酸化炭素排出に関わる全ての項目で目標を達成できた結果、二酸化炭素排出量においても目標を達成でき、前年度比も4%の削減ができた。	
①-1 電気使用量	ライトダウン活動への積極的な参加やエアコンの適正温度管理等により目標比約5%の削減ができた。	
①-2 灯油使用量	効率的な運用で目標比26.3%の削減を達成、前年度比においても8.5%の削減ができた。	
①-3 ガソリン使用量	エコドライブ選手権の実施やノーマイカーデーの毎月継続開催等により、目標を達成できた。前年度比においても約5%の削減ができた。	
①-4 都市ガス使用量	必要最小限の使用で目標を達成できた。	
② 廃棄物排出量	事業系可燃ごみ及び段ボールの廃棄量の増加により目標は未達であったが、適正分別の意識向上により、前年度より微量ながら削減ができた。	
③ 総排水量(使用水量)	年間通じた節水により、目標を達成できた。	
④ 省エネ車両の購入	計画的に省エネ車両への更新を行い、目標を達成できた。	
⑤ 環境に配慮したサービスの提供	現場におけるゴミの分別が習慣化されてきた。今後も更なる意識付けを実施する。	
⑥ 試薬室の清掃・点検	計画通り実施できた。	
⑦ 環境ビジネスに関する啓蒙活動の実施	中学生インターンシップの受け入れ、宇部高専における特別授業の実施など積極的に活動できた。	
⑧ 会社周辺の清掃	地域清掃活動への参加など、年5回実施した。	

7. 環境関連法規の遵守状況

□環境関連法規への違反、訴訟等の有無

○法的義務を受ける主な環境関連法規制は次のとおりである。

- ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律
- ・毒物及び劇物取締法
- ・消防法
- ・下水道法
- ・山口県環境型社会形成推進条例

◎環境関連法規等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規への違反はありませんでした。

なお、過去3年間に、関係当局よりの違反等の指摘はありませんでした。また、訴訟もありませんでした。

8. 代表者による全体評価と見直し及び次年度への取組

今年度は、ほぼ全ての項目において、結果の出た一年となりました。

具体的には、12項目中、廃棄物排出量を除く11項目で目標達成が出来ました。未達成の廃棄物排出量については、売上の増加に伴い梱包段ボール等の増加はありましたが、約98%の達成率であり、前年度からの削減はできました。特に、重点項目であるガソリン使用量は、目標達成と同時に、平成25年度から3年連続の削減が達成できました。電気、ガス、都市ガスについても目標達成でき、結果として二酸化炭素排出量も、目標達成と同時に平成25年度から3年連続の削減ができました。

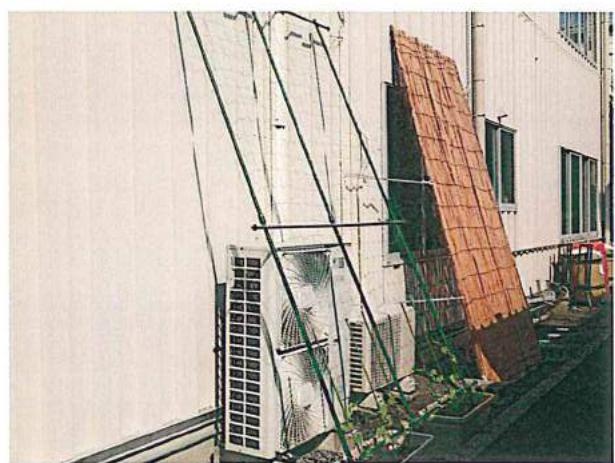
この結果の原因としては、エコアクションを取得して丸5年が経過し、様々な活動が社内で習慣化し、定着したことが挙げられます。また、5年間の実績データの蓄積、分析、継続的改善により、精度の高い活動ができるようになったことがあります。その一つとして、目標の見直しにより、身の丈に合った活動ができるようになったことも良い結果が出た原因だと思います。

今年度の活動を振り返ると、まずは、これまで単発で行っていたノーマイカー、ライトダウン活動を山口市の取り組みに合わせて、毎月第3金曜日に定例化して行うこととしました。その結果、「第3金曜日はノーマイカー/ライトダウンデー」として、委員会から働きかけとともに社内に定着したように感じます。また、昨年に引き続き、環境月間に合わせて、第2回エコドライブ選手権を開催しました。昨年度の成功を受け、今年度は期間を1ヶ月延長して2ヶ月とし、評価対象に昨年からの燃費の向上率も加えました。その結果、全体で昨年度の平均燃費に対して、1.8km/L(12.5%)の燃費向上が達成出来ました。ガソリンの使用量についても、89.7Lの削減、CO₂排出量は、208.4kg-CO₂削減することができ、昨年に続き、大きな成果を出すことが出来ました。また、環境に関する特別授業の実施やインターンシップ生の受け入れといった、環境に関わる啓蒙活動、清掃等を通じた地域活動への協力についても、積極的に実施することができました。

次年度への取り組みについては、活動が習慣化し定着することは、マンネリ化と背中合わせです。同じ活動においても、期間や内容あるいは目標設定の見直し等、継続的改善を行い続ける必要があります。そして、タイムリーにエコアクションに対する意識を喚起し、フレッシュ感を切らすことなく積極的な活動をしていく必要があると考えています。

9. 環境活動の紹介

【グリーンカーテン（ヘチマ）、葦簀設置】平成 27 年 5 月～



【清掃活動参加】平成 27 年 6 月

■地域清掃活動



【清掃活動参加】平成 27 年 7 月

■地域清掃活動



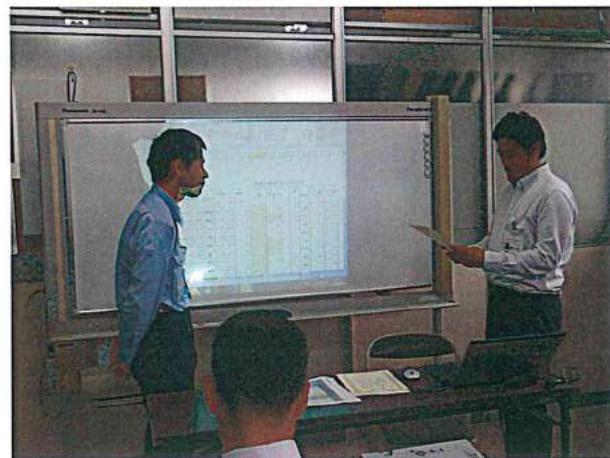
【宇部高専特別授業】平成 27 年 8 月

環境に関する特別授業実施



【エコドライブ選手権】平成 27 年 9 月

■成績優秀者 3 名、特別賞 1 名、燃費向上優秀者 3 名表彰



【清掃活動參加】平成 27 年 11 月

■地域清掃活動

